-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

現在、産婦人科では、以前に「卵巣癌・卵管癌・腹膜癌患者を対象とした腫瘍減量手術時および試験開腹術時におけるアミノレブリン酸塩酸塩を用いた光線力学診断の有効性と安全性を検討する特定臨床研究」のご協力者からいただいた診療情報等を使って、下記の研究課題を新たに実施しています。

この新たな研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この新たな研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名]　GINGA 試験由来手術動画データを用いた腫瘍部位自動判定 AI モデル開発に向けたデータセット構築及び臨床的妥当性評価

[研究対象者]

2024年10月に開始された「卵巣癌・卵管癌・腹膜癌患者を対象とした腫瘍減量手術時および試験開腹術時におけるアミノレブリン酸塩酸塩を用いた光線力学診断の有効性と安全性を検討する特定臨床研究」（研究責任診療科：産婦人科、研究責任者：田畑 努 教授）への協力にご同意いただいている方で、試験薬（アミノレブリン酸塩酸塩）を投与された方

[利用している診療情報等の項目]

診療情報等：腫瘍可視化技術である光線力学診断中の術中動画データ・腫瘍の病理判定結果

※利用対象は腫瘍とその周囲を映した動画です。

[利用の目的]　（遺伝子解析研究：無 ）

腫瘍の良性悪性の判別を行うAIモデルの構築を目的としています。

[共同研究機関及び研究責任者]

上記の診療情報等を、下記機関に対して、AIモデルの構築の共同研究実施のために提供します。

〔主な提供方法〕□直接手渡し □郵送・宅配 ■電子的配信 □その他（　　）

SBIファーマ株式会社・開発本部・本部長 山内視嗣

[業務委託機関及び責任者]

Photonamic GmbH & Co. KG・Global Project Manager・Dr. Norbert Berenzen

Fraunhofer Research Institution for Individualized Medical Technology and Engineering IMTE・Head of Product Group X-ray Imaging・Dr. Maik Stille

[研究実施期間]　倫理審査委員会承認後より2027年12月までの間（予定）

[この研究での診療情報等の取扱い]

本学倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されることがないように加工をしたうえで取り扱っています。

[機関長、研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

機関長：東京女子医科大学　理事長　清水　治

研究責任者：東京女子医科大学　産婦人科　准教授　本橋卓

研究内容の問い合わせ担当者：東京女子医科大学　産婦人科　准教授　本橋卓

電話：03-3353-8111（応対可能時間：平日 9 時～16 時）